（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高森町ゼロカーボンシティ実現事業
事業主体 （連絡先）	高森町 0265-35-9409
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,514,742　円 （うち支援金： 3,611,000　円）

事　業　内　容

１．企業CO2排出量診断・取り組み支援（GXアドバイザー派遣）
２．ゼロカーボン啓発グッズ製作
３．環境学習
　①ゼロカーボン学習会（体験型）



【ゼロカーボン学習会】

事　業　効　果

①申し込みのあった３社に対し、GXアドバイザーを派遣した。企業が排出する二酸化炭素を見える化して、削減計画の策定や脱炭素に向けた取り組みを提案することで、具体的な改善に繋がる支援をした。
②11月１・２日に開催された、環境メッセでグッズを配布して、高森町が取り組むゼロカーボンを周知した。1,429人（１日目664人、２日目765人）の来場者があり、グッズに興味を持ち、ブースに足を運ぶ姿が多くみられた。また、役場窓口で配布することで、関心を持つことに繋がった。
③親子を対象にした学習会には参加があった。地球温暖化が起きる原因を知り、太陽光発電と蓄電池の仕組みを使ったソーラーカーを製作することで、温暖化防止への関心を高めることができた。
小学校でのゼロカーボン授業は、地球温暖化が起きる原因を知り、環境に優しい発電方法を学んだ。グループワークで意見を出し合うことで、温暖化防止への理解を深めた。

【目標・ねらい】

①企業が地球温暖化防止に取り組む意欲を醸成する。

②町民やイベント来場者が、ゼロカーボンへの意識を高める。

③親子や小学生が、ゼロカーボン

※自己評価【A】

【理由】
取り組みをすることで、これまでゼロカーボンへの意識が高くなかった層が、関心を持つことに繋がった。関わることで、今後の取り組みに繋がることが期待できる。

今後の取り組み

企業CO2排出量診断・取り組み支援は、３社への支援をすることで、CO2の見える化と具体的な取り組みへ繋げることができた。今後は、町内の企業に取り組みの成果を周知することで、横展開していくことを促す。
支援した企業は、自走できるように今後もサポートし、太陽光発電や蓄電池の導入を支援する。
ゼロカーボングッズは、取り組みに興味を持つきっかけとなる効果が分かったので、今後もイベントや窓口で配布して、関心を高めることに活用していく。
ゼロカーボン学習会は、親子が体験しながら楽しく学ぶことに繋がるため、今後も継続して実施する。
小学校でのゼロカーボン授業は、グループワークをすることで活発に意見が出た。今後も継続して、決まった学年で実施することで、全ての子どもがゼロカーボンを学ぶ環境を作っていく。